

キラキラ

…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:66 平成19年10月15日

つぶやきサロン

～黄金まち便り～

人と人が行き交う市場の魅力

昭和の面影を残す小倉北区の黄金商店街は、朝11時頃から夕方5時頃までが最も賑わいをみせる。老若男女とはなかなかいかず、老若男女が集まってくる。

それは売る側も同じで、店主にも高齢化の波が押し寄せている。たまに聞こえる小さな子供連れの声がなんとも新鮮で、事務所を飛び出して思わず通路を覗いてみたりする。

この「黄金まちNPOステーション」の隣には、昨年10月にオープンした買い物客のための休憩所兼コミュニケーションスペース「こがね交茶店」があり、お年寄りばかりでなく若いおかあさんと子供たちが立ち寄ってくれることもある。そんなときにはまわりの商店のおじちゃんおばちゃんたちも思わずにっこり……。お店から通路に出てきてみんなでおしゃべりタイムが始まったりするのだ。

この一見アナログな世界で、週に何日かを過ごせる幸せを私は感じ始めている。ここではたとえパソコンのキーボードに向かっていたとしても、聞こえてくる売り買いの人の声（今日はなぜか鳥の鳴き声も!）、食べ物匂い、有線の音楽など懐かしく、昭和に紛れ込んだという感じなのである。

今は情報が行き交う時代である。それはわたしたちの体ではなく頭の上を何かが通り過ぎていく感じがする。ここ黄金まちではまだまだ人と人が行き交っている。人が主人公だと感じることができる。それがここに居て幸せを感じている理由なのかなと思っている。



黄金町商店街の様子

黄金まち NPO ステーション運営委員 中野裕子さん

(当センター専門相談員)

第71回・サポートセンターの日/2007・9・25

「スポーツを通して仲間づくり！楽しさ、発見！」と題して2団体に活動発表をしていただきました。



富澤めぐみさん(右)

スペシャルオリンピックス日本・福岡 北九州グループ代表 富澤めぐみさん

スペシャルオリンピックスは、知的発達障害のある人たちに日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織です。活動はボランティアと善意の寄付によって行われています。

「スペシャルオリンピックス」の名称が複数形で表されているのは、大会に限らず日常的なスポーツトレーニングから世界大会まで、様々な活動が年間を通じて、世界中で行われていることを意味しています。

歴史的には1962年、故ケネディ大統領の妹が、自宅の庭を開放し開いたデイ・キャンプが始まりです。1968年に組織化され、全米から世界へと広がっていきました。現在165ヶ国以上、約250万人のアスリート(スポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼んでいます)、70万人のボランティアが活動しています。アスリートとボランティアが、共にスポーツを楽しみ、健康を増進する場になっています。

日本においては1994年に熊本県で設立され、1996年には福岡県でも設立され、現在福岡市、北九州市、久留米市、春日市、古賀市で260人のアスリート、220人以上のボランティアが活動しています。

北九州グループは2001年から5人のアスリート、5~6人のボランティアから始まりましたが、現在は50人のアスリート、ボランティアやファミリーを加えると150人を超える団体になりました。TOTOや新日鐵等との交流会も持ち、北九州市障害者スポーツ大会にも参加しています。

種目の設定はオリンピック競技やそれに準ずるものから選び、1人のアスリート、1人のボランティアがいれば始められます。参加者は作業所や特別支援学校などにチラシをおいたり、口コミによって広がっています。

ボランティアは全て手弁当で参加していますが、アスリートが自分で練習に行けるようになったり、服が自分で着られるようになったりすることは大きな喜びです。今の日本ではなかなか見られない喜びを共感しあえる関係があるからこそボランティアもやりがいがあります。

これからもこの活動を少しずつ地道に広めていきたいと思っています。



菊田馨さん(左)

特定非営利活動法人九州モータースポーツ協会 理事長 菊田馨さん

モータースポーツは、自動車及びその産業と深い結び付きにより、欧米では100年以上の歴史の中で発展し、市民権を得ています。

一方、我が国ではその地名度は低く、また真のスポーツとしての価値が見出されていない部分が多く、市民権が得られているとは言い難い状況にあります。この原因は、「文化(含むスポーツ)を育てる」という意識の低下と、「勝てばよい」という結果至上主義のはびこりが大きいなど、近年日本の風潮にも合致するところではあります。

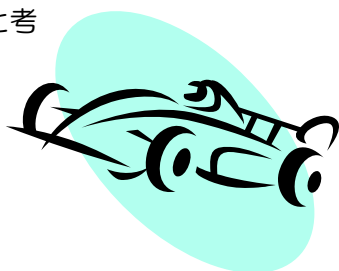
現在、モータースポーツの種々のカテゴリーの中で、その底辺を構築し、活動人口の最も多いのは、「レーシングカート」です。このカテゴリーには、4~60歳ぐらいまでの方が日々練習に励み競技会(レース)に参加しています。また、日々の活動においては、小中学生の割合が4割近くになる場合も珍しくなく、身体障害者も健常者と同じレースに出場し、健常者を上回る成績も残しています。

青少年の活動比率が増加したレーシングカート界では、彼らの健全な育成のためにも、「真のスポーツ」としての意識改革が急務であり、この改革による九州モータースポーツ全体の向上と発展のために、当協会は2007年4月にNPO法人格を取得し、活動を展開しています。

レーシングカートは、4つのタイヤと鉄製フレームだけのマシンで、高性能で安全な自家用車とは異なり、その安全と速さはドライバーの技量に頼るだけの非常に危険なものです。そのため、必ずチームに所属し指導を受け、お互い助け合いながら活動を継続して行きます。モータースポーツは、危険なものであるからこそ、非常に深くルールを遵守し、相手に敬意を払い、助け合う「団体スポーツ」なのです。青少年にとっては、この環境から非常に多くの尊いことを学べます。また、学校、家庭以外の新たな社会を持つことも大変重要なことです。

将来的には、モータースポーツと自動車産業をリンクさせながら、「豊かで健全なまちづくり」を目標に社会貢献して行きたいと考えています。

※11月下旬に小中学生中心の自転車大会を実施します。



…情報のひろば…

イベント・ボランティア



2007年度環境再生医資格認定講習会

「環境再生医」とは、対象となる環境の復元・再生に際して、環境の現状を診察し、処方をして、治療をほどこし、さらにその後のケアを継続的に行う環境分野の専門家のことです。

○日時：11月24日(土)・25日(日)

○場所：西日本短期大学
(福岡市中央区福浜1-3-1)

○受講料：初級15,000円 中級25,000円

○申込方法：ホームページ(<http://www.narec.or.jp>)にアクセスして、受験要項をお読みいただいた後、お申し込みください。

○主催：認定NPO法人自然環境復元協会
東京都新宿区高田馬場1-3-1 3-301
TEL 03-5272-0254
E-mail: info@narec.or.jp

第29回 ぴあフィルムフェスティバル in 北九州

日本最大の自主制作映画コンペティション「PFFアワード2007」入選作の上映と青山真治監督をゲストに迎え、トークバトル&上映会も同時開催。

○日時：10月26日(金)～28日(日)

○会場：ヒューマンメディア財団 マルチメディアホール(八幡東区東田1-5-7)

○入場料：前売券(1回券：800円)
当日券(1回券：1,000円)
※青山真治監督セレクションはどちらも200円増

○映画祭フリーパス：7,000円(50枚限定)

○主催：PFFパートナーズ(ぴあ、TBS、他)
<http://www.pia.co.jp/pff/>
TEL 093-512-8007(吉武)

園芸療法セミナー2007

園芸療法に必要な知識、手法、技術についての基礎知識を学びます。

○日時：11月17日(土) 13:00～15:00

○場所：白野江植物公園(門司区白野江2丁目)

○講師：小林まき子氏
(大阪河崎リハビリテーション大学講師)

○受講料：無料

○申込締切：11月4日(日)

○申込先：NPO法人 グリーンワーク
小倉北区東篠崎一丁目2番7号
(爽環境計画内)
TEL 093-941-9805
FAX 093-941-9806

ほけてもいいよといわれたい ～安心ライフプランづくり講座～



○日時：11月14日(水)
～平成20年1月30日(水)
18:30～20:30

○会場：ウェルとばた 11階11A研修室

○受講料：2,000円

○コーディネーター：古市勝也氏(九州共立大学教授)

○応募締切：10月31日(水)

○申し込み・問い合わせ先：
北九州市立生涯学習総合センター
TEL: 093-571-2735

…助成金情報…

★「JT青少年育成に関するNPO助成事業」

非営利法人が青少年の健全な育成のために、地域と一体となって取り組む事業を支援します。活動分野は特に問いませんが、環境美化、環境保全を推奨します。

★助成金額：1件あたり年間150万円まで
(40件程度)

★応募締切：11月20日(土)

★〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1
日本たばこ産業株式会社 CSR推進部社会貢献室
TEL: 03-5572-4290
FAX: 03-5572-1443

<http://www.jti.co.jp/welcome.html>



★社会的投資プログラム

日本国内で実施する次に該当する内容(①青少年育成 ②障がい者支援 ③環境保護)で、「情報通信技術」を活用したプロジェクト(1年以内のもの)。

★助成金額：総額：1,500万円
(1案件あたりの上限：500万円)

★応募締切：11月15日(木) 18:00まで
(郵便物に関しては当日消印有効)。

※「社会的投資申請書」は必ずEメールで送付。その他の書類は郵送可。

★〒105-7317
東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング
ソフトバンクモバイル株式会社 総務部
CSRグループ

E-mail: csr.jp@mb.softbank.co.jp
<http://www.softbankmobile.co.jp/corporate/csr/socialinvestment/youkou/index.html>

NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成19年8月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	31,026	29,806	303
【福岡県】	1,093	1,046	1
内閣府	2,793	2,560	112
全国計	33,819	32,366	415

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成19年9月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	226	220	—

9月に認証された特定非営利活動法人

○特定非営利活動法人自立生活センターぶるーむ
9月12日 認証

平成19年度 NPO講演会 開催のお知らせ 地域のかにつなげる！—市民・企業・行政のパートナーシップとは—

参加無料



名古屋市で「パートナーシップ大賞」を主催し、企業の社会貢献活動（CSR）とNPOとの協働を推進しているNPO法人パートナーシップ・サポートセンター代表理事の岸田真代さんを講師に迎え、これからのまちづくりにおける市民・NPO、企業、行政のパートナーシップについて考えます。

○と き：平成19年11月26日（月） 14:00～15:30（開場 13:30）

○場 所：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5階
大セミナールーム（小倉北区大手町11-4）

○定 員：100名

○講 師：岸田 真代（きしだ まさよ）氏

NPO法人パートナーシップ・サポートセンター代表理事

○申込方法：11月20日（火）までに電話、FAX、Eメールでサポートセンターまでお申込みください。

○主 催：北九州市



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日…毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティションで仕切った無料の会議室。
※要予約

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◇利用時間◇月曜日～土曜日《10:00～21:00》

日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】10月25日（木）11月8日（木）

編集後記

我が家に新しい家族（犬）が来て半年。そろそろ、落ち着いてもいい頃なのに、相変わらず、やんちゃです。サークルからは脱走するし、コンセントはかじり、洗濯物を取ってきてはそれで遊んでいます。

今までいろんな犬と出会って過ごして来ましたが、なぜか秋田犬やシェパード、ゴールデン等大型犬ばかり！一度でいいから「抱ける犬」が欲しいという願いがやっと叶い、トイプードルがやってきたのです。これから、一緒にどんな体験できるか楽しみです。 By パックン